

日本農業気象学会 2008 年度第 1 回理事会議事録

日 時：日時：2008 年 6 月 9 日（月）13:00～17:35

場 所：東京大学農学部 7 号館 A 棟 7 階 717 号室（東京都文京区弥生 1-1-1）

出席者：井上，大政，後藤，小林，荊木，小沢，脇水，清野，沖，北野，松岡，朝倉，
五十嵐，大野，大原，青木，蔵田，富士原

欠席者：平野，皆川，横山，田中，町村，菅谷，渋谷，王，黒瀬，宮田，早川

[会長挨拶]

[議事録確認]

1. 2007年度第2回理事会議事録報告（大野，資料1）
資料通り承認された。

[報告・連絡事項]

1. 2007 年度評議員会および 2008 年度総会要旨（大野，資料 2, 3）
評議会議事録案（資料2）および総会議事要旨案（資料3）を承認した。評議会議事録案については，庶務理事より各評議委員に送付し，6月末日の期限を付して修正意見等を求め，修正意見等がない場合はこの日を以て評議員会に承認されたものとする事とした。なお，ホームページには総会議事要旨のみを掲載し，会員より総会資料の請求があった場合には，庶務理事より送付することとした。
2. 日本農学会関係（富士原，資料 4）
3月6日に開催された日本農学会運営委員会において，評議委員会，平成20年度農学大会準備状況，平成20年度シンポジウムの準備状況，出版関連の準備状況などについて報告されたこと，および公益法人の制度改革に対応する体制について説明があり了承されたことが報告された。
3. 日本農業工学会第 24 回定時総会（富士原）
5月9日に開催された定時総会に出席した長野敏英会員からの報告として，事務局の移転，役員の交代，および本学会の堀口郁夫会員，谷信輝会員がフェローに承認されたことが説明された。
4. 日本農業気象学会シンポジウム準備状況（沖，資料 8）
資料に基づき準備状況が報告された。一般講演は他支部からも可とすること，若い世代の会員に発表を促すためにホームページを順次更新し，呼びかける予定であることが説明された。懇親会会場を50～60名の想定で選定していることに対し，少ないのではないかとの意見があった。
5. 学会名称に関する会員意見交換会の会場および開催日時（沖）
研究交流センターの第2会議室において，2008年11月5日(水) 13:30～16:30に開催すること，一般会員にも広く参加を呼びかけることが報告された。開催案内は青木副会長が作成し，富士原総務理事経由でホームページに掲載することとした。
6. 2009 年全国大会準備状況（富士原，資料 5）
岡田東北支部長が作成した資料に基づき報告された。本部への要望については，審議事項で扱われた。

7. 役員選挙準備状況（荊木）

8月末までに支部会選出の役員候補者を選出できるよう準備することが報告され、山本晴彦会員を委員長とする選挙管理委員会はすでに発足していることが確認された。また、選挙の実施時期が例年より早まることの通知文を庶務理事が作成し、各支部長および支部事務局に送付することとなった。

8. 編集関係（荊木）

農業気象64巻3号が間もなく発行されること、現在の掲載確定論文は、英文論文5編、和文論文1編、英文短報1編であること、「生物と気象」8巻に、4本の原稿を掲載したこと、および J-STAGE において早期公開（著者が希望した場合に、掲載可となった時点で公開）準備が進められていることが報告された。

9. 学会賞審査委員長の選出結果（大野，資料 11）

委員の互選により、2008年度の委員長に早川誠而会員が選出された。

10. 総務理事の追加（富士原）

平野高司理事が総務理事に追加任命され、2009～2010年度に主担当、2011年度に副担当を務める予定であることが報告された。

11. 学会賞賞牌作製依頼交渉（蔵田）

賞牌10基を100万円で作製して頂けることになったこと、現在、高倉直名誉会員を介して、賞牌作製を引き受けて頂くようになった当時の経緯等の情報を収集中であること、およびそれらの情報をもとに感謝状の文面を作成する予定であることが報告された。なお、すでに賞牌は完成していることから、速やかに支払いを行うために、一般会計の手持ち金から支出できない場合には、一時的に事業準備金の通帳から引き出すことが了承された。

12. ホームページ管理業務状況（富士原）

（財）農学会が3月末で管理業務を辞退したため4月より渋谷理事が管理業務にあっている（ホームページサーバーは文科省の学術情報センターのものであり、使用料は無料）こと、濱崎孝弘編集委員が「生物と気象」に関係する管理業務を行うべく、ホームページ担当委員を兼務していること、および当面予算措置は必要ない状況であることが、渋谷理事からのメールに基づき報告された。

13. Web 版センサハンドブック準備状況（北野，資料 10）

改訂版原稿はすでに作成されており、ページデザインも契約済みであり、現在、企業との契約をどのように結ぶかを検討中であることが報告された。ハンドブックの掲載サーバーと管理者については広報・企業特別委員会で検討することとした。

14. 学会紹介用展示パネル準備状況（青木）

広報・企業特別委員会学会紹介パネルを作製・印刷し、アグロイノベーション2008(7月16日～)より使用することが報告された。作製したパネルは庶務理事経由でアグロイノベーション2008事務局に送付することとした。

15. 農業気象セミナー（青木）

2008年2月25日にセンサーエキスが2008において農業気象セミナーを開催し、参加者は21名であったこと、および今回は新規賛助会員の申し込みがなかったこと、および来年も実施する予定であることが報告された。

16. 共催・協賛・後援（大野，資料 11）

共催1件、後援2件を認めた。

17. 2008 年全国大会概況（荊木）

全国大会には183名が参加し92件の講演があり，ISAM2008には156名が参加し113件の講演があったこと，ISAM 論文は62編が申込まれ46編が投稿され，そのうち27編はリジェクトまたは再投稿となったこと，および ISAM 論文への投稿料補助額以外については決算が確定したことが報告された。

18. その他

なし。

[審議事項]

1. 会長指名理事（会計理事）の追加

五十嵐大造会員を会長指名理事および会計理事とすることが提案され，了承された。

2. 会長指名理事（企画講演副委員長）の追加

星岳彦会員を会長指名理事および企画講演副委員長とすることが提案され，了承された。

3. 2009 年全国大会担当理事の選出

岡田益己会員を2009年全国大会担当理事とすることが提案され，了承された。また，2008年全国大会担当早川誠而理事の解任が了承された。

4. 2009 年全国大会開催補助費（資料 5）

2009年全国大会実行委員会からの大会運営助成金の支出要求に対し，大会運営助成金として25万円を2009年1月に振り込むこととした。ただし，経費節減に努めるとともに余剰金が生じた場合には速やかに本学会に返金することを実行委員会側に求めることとした。

5. 2009 年全国大会時に ISAM 発表された論文の審査

ISAM 論文の審査は編集委員会が行うことを編集委員会が了承した。原稿の受付および編集委員会への原稿引き渡しを担当する委員は大会実行委員会より選出願うこととした。論文審査に伴う編集委員の増員については，編集委員会で検討することとした。早期審査は行うが，投稿料の補助は行わないことが確認された。

6. 2010 年全国大会

東海支部で開催することが了承された。

7. 会誌発行業務委託先の変更（松岡，資料 12）

委託先を変更する方向で引き続き検討を続けることが確認された。

8. 学会業務委託先の変更（松岡，資料 12）

委託先を変更する方向で引き続き検討を続けることが確認された。委託先を変更する場合には事務所所在地を新しい委託先に変更することとし，その際，事務所所在地の変更は総会の議決を経なければならないので，新しい委託先への学会業務委託の開始は2010年1月以降とすることとした。養賢堂からも見積りを取り，新たな条件での契約を交渉し，その際，委託料の値引きと論文ファイル提供の迅速化を求めることとした。養賢堂との交渉には，蔵田会長，松岡編集理事および富士原総務理事があたることとした。

9. 他学協会表彰の受賞候補者選定方法（大原）

他学協会から依頼される受賞候補者の選定は，理事会の審議事項とすることが提案され，了承された。また，依頼から回答までの時間が短く，理事会による審議が困難

である場合には、会長、副会長、総務理事および庶務理事の協議により対応することとした。

10. ポスドク会員の制定（朝倉，資料 6）

ポスドク会員は学会の将来を担うと期待されることから、学生会員と同等の扱いをすることが提案され、了承された。「ポスドク」の定義については会計理事が検討し、次の理事会で提案することになった。

11. 研究部会の設立申請（青木，資料 13）

青木正敏会員より提出された「センシング・モニタリング技術研究部会」（研究期間：3年，事務局：横山仁会員，賛同者24名）の設立申請が了承された。

12. 海外特別会員の推薦（小林，資料 15）

編集委員会より推薦された Richard Allen 氏，E. J. P. Quilang 氏を海外特別会員とすることが了承された。また、海外特別会員の推薦を編集委員会から会員に広げるための会則改正を、次回総会の議題とすることとした。

13. 会員メーリングリストの活用法と担当理事の選出（富士原）

セミナー開催等、会員の利益になると考えられる情報を発信するために、養賢堂が有している本学会員メーリングリストを活用することが提案され、了承された。庶務理事が養賢堂とのメーリングリストに関する契約を確認し、可能であれば早速活用開始することとした。情報は庶務理事より発信することとした。

14. 韓国農林気象学会との合同大会開催他についての審議依頼（富士原，資料 7）

本学会からの経費支出が伴う関与は認められないが、伴わない協賛などであれば認めることとした。経費の伴わない協賛などの一環として審議依頼者が活動を行う場合、状況等を適宜理事会に報告するよう、審議依頼者に求めることとした。

15. 2009 年全国大会開催時の評議員会および総会開催日時（富士原）

3月25日13:30～15:30に評議会，3月25日16:00～18:00に総会，3月27日12:00～13:00に理事会を、それぞれ開催することが提案され、了承された。

16. 2009 年度総会資料内容の理事会承認方法（富士原）

12月の理事会では2009年度決算報告および会計監査報告を除く総会資料案を審議すること、および2009年度決算報告および会計監査報告については、2月以降にメール審議とすることが提案され、了承された。

17. 農業気象教育への学会としての取り組み（蔵田）

農業気象教育への学会としての取り組みを議論する機会の必要性の説明に続き、学会名称に関する会員意見交換会の議題に、農業気象教育への学会としての取り組みを含めることが提案され、了承された。

18. 気象庁とのコンソーシアムの形成（大原）

本学会内に気象庁の数値予報データの利用技術開発のためのコンソーシアムを結成し、これを窓口とする共同研究を気象庁と結ぶ構想は、会員全体の利益になることを可能性のあることが説明され、その構想の実現については大原理事が検討することとなった。

19. その他

なし。

[その他]

1. 2008 年度第 2 回理事会の開催予定

9月29日(月)13:00～17:00を第1候補として調整を進める。